

平成 30 年 2 月 吉日

各 位

富山県工業技術センター
所 長 鳥 山 素 弘

平成 29 年度ものづくりバトンゾーン研究会

「ヘルスケア研究会」の開催について

時下、貴社にはますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

さて、近年、各種センサや様々な機能を持った電子機器がモジュール化され小型化・軽量化・高機能化が進んでいます。これらの技術により、常時装着していても身体に負担にならないウェアラブル機器の開発・普及が急速に高まっています。また、これらの機器は単に計測するだけでなく、スマートフォンなどネットワークへの接続により、計測データの高度な解析・蓄積が可能となり、医療や、個人の運動や健康を管理できるヘルスケアデバイスとして応用や高機能化が進んでいます。

つきましては、県内の技術・研究者を対象に、ウェアラブル機器の最新の開発状況並びに今後の展望について、下記のとおり研究会を開催いたします。

ご多忙の折とは存じますが、多数ご参加いただきますようご案内申しあげます。

記

1. 日 時 平成 30 年 2 月 28 日 (水) 14:00～15:00
2. 会 場 工業技術センター生活工学研究所 ホール (南砺市岩武新 35-1)
3. 内 容
講演「異業種からの医療・ヘルスケア機器ビジネス参入について」
ーヘルスマニタリングへのウェアラブルデバイスの活用ー
丸文株式会社 ディオネカンパニー 課長 藤川 英和 氏
従来、曲げたり伸縮させたりすることが難しいため、人体の動きで外れたり、ストレスから長時間の計測ができないなどの難点があったセンサやモジュールを、柔軟性のある樹脂に独自の技術で封入したヘルスケア向け直接装着型センサーモジュール“BioStamp”について紹介いただきます。人体に直接貼り付けられるため、就寝中から外出先までどこにいても 24 時間安否確認が可能で、かつ激しい曲げや引っ張りにも柔軟に対応し、スポーツ中の筋肉の動きや健康状態をリアルタイムに計測・記録することも可能です。
また、医療・ヘルスケアに参入したことがないメーカーがどのように法規制をクリアしていくかなどの課題も含めご講演いただきます。
4. 参加費 無料
5. 申込方法 2 月 23 日 (金) までに、別紙様式に記入の上 Fax にて送付いただくか、必要事項を記載した E-mail を送信願います。
6. 申込み・問合せ先
工業技術センター生活工学研究所 (〒939-1503 南砺市岩武新 35-1)
担当：上野、浦上 Tel. 0763-22-2141 Fax. 0763-22-4604
E-mail: ueno@itc.pref.toyama.jp

「ヘルスケア研究会」参加申込書

参加を希望の方は、平成30年2月23日(金)までに申込書をFAX(0763-22-4604)いただくか、必要事項をE-mail(担当:上野 ueno@itc.pref.toyama.jp)にて連絡下さい。

会社名/団体名: _____

住 所: _____

電話番号 _____ FAX番号 _____

所属部署	役 職	氏 名	メールアドレス

備考

- 1 本申込書に記載された個人情報は、受講者の確認や、やむを得ない事情により、日時、会場の変更があった場合にその連絡を行うために提出していただくものです。
- 2 また、本申込書に記載された個人情報を、参加者名簿(会社名・受講者氏名のみ)の形で講師に提供する予定です。提供することに同意されない場合は、次の□欄にチェック願います。
 同意しない

なお、本状の宛先に間違い・修正・追加等がございましたらお手数でも申込の有無に関わらず、本状に修正・記入の上ご返送いただきますようお願いいたします。